



2024年8月28日

日本機械学会北海道支部 バイオメカニクス懇話会
第48回講演会

(共催：バイオメカニクス懇話会，日本機械学会北海道支部)

主査 大橋 俊朗

下記の要領にて第48回講演会を日本機械学会北海道支部特別講演会との共催として開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2024年9月20日（金），13:00～13:40

形式：オンライン

<https://zoom.us/j/99416530568?pwd=u5halK0MA1AXxTjriekf6qbylbwabt.1>

ミーティング ID: 994 1653 0568

パスコード: 642918

講演：

「高齢者の腰曲がり(脊柱後弯症)の病態と治療」

小澤 浩司，教授，博士(医学)，東北医科薬科大学医学部整形外科学

中高齢者の腰曲がり(脊柱後弯)は QOL に大きな影響を与える。患者の多くは歩行時に体が次第に前傾し歩き続けられないと訴える。歩行時の体幹の前傾化は、圧迫骨折遺残変形や椎間板変性などの構築的要因に加えて脊柱可撓性、腰・背・殿筋筋力、脊柱-骨盤-下肢アライメントなどの機能不全に伴う機能的要因による。高齢化により増加している脊柱後弯症患者に対して、装具療法，理学療法を組み合わせた適切な保存療法と効果的な手術療法の確立が望まれる。東北医科薬科大式装具では、後弯症患者の歩行時の体幹の前傾化に骨盤の前傾が大きく関与していることに注目し、骨盤の傾きをコントロールすることで体幹前傾化を予防する。手術では構築的要素が強い例には脊椎骨切りによる矯正と椎弓根スクリューと小フックを併用した固定により良好な成績をあげている。

世話人・問い合わせ先：

大橋 俊朗 北海道大学大学院工学研究院機械・宇宙航空工学部門

Tel&Fax: 011-706-6424, Email: ohashi@eng.hokudai.ac.jp